

# ロシアのウクライナ軍事侵略に抗議する声明

2022年2月21日、ロシアは、ウクライナ東部の親ロシア派支配地域の独立宣言を承認し、同月24日にはウクライナの軍事施設・港湾施設や主要都市への軍事侵攻を開始した。欧米をはじめとした各国の度重なる警告を無視し、対話のチャンネルを放棄する形での侵攻は、国際社会と決定的に対立することとなった。すでに民間人を含む多数の死傷者が出ている。国家主権と領土を武力で侵すことは国際秩序を揺るがす蛮行であり断じて容認できない。

また、第二次世界大戦の反省の下に作られた「国際連合憲章」にも違反する事態である。

プーチン大統領は、北大西洋条約機構（NATO）の拡大を恐れ、ドネツク州およびルガンスク州の親ロシア政権の独立を承認するとともに、ロシア系住民への迫害があるなどの理由で「自衛」を口実にウクライナに侵攻した。これは、この地域の紛争解決のためのミンスク合意を反故にするものであり、迫害の事実があれば、まずは国際社会へ問うべきである。

ウクライナがロシアを攻撃する意図はないと繰り返し表明していた中で軍事侵攻は、国際社会の理解を得られることはない。ロシアが言う「自衛」のための攻撃が正当化されることもない。なぜなら、多くの戦争は「自衛」の名の下に引き起こされてきたし、それが罪のない市民にも多大な犠牲を強いられているからである。

この間、プーチン大統領は公然と核兵器使用をほのめかす発言を行ない、侵攻前には核兵器搭載可能な大陸間弾道ミサイルを使った軍事演習を実施するなど、核による威嚇を繰り返してきた。核兵器禁止条約が発効し、核兵器の非人道性が指摘される中でプーチン大統領の発言は、「核兵器」を弄ぶものであり、断じて許されないものである。

全国港湾・港運同盟は、日本国憲法第9条の精神に則り、ロシアによる軍事侵略に対し、強く抗議するとともに、即時の停戦と撤退を強く求める。

2022年3月15日

全国港湾労働組合連合会・全日本港湾運輸労働組合同盟

# 適正料金の支払いを要請

## 22港湾春闘中央行動

分かつ厚生労働省に、参加者全員が申し入れに臨み回答を行うよう求めた。

行動については、常任中央執行委員会で検討した結果、引き続きのコロナ感染対策の観点から、規模の縮小はやむを得ないとして取り組むことを決定し、行政申し入れとユーザー要請及び政党との懇談を実施することとなった。

全国港湾と港運同盟は、3月10日(木)から11日(金)にかけて22港湾春闘の一環として、中央行動を取り組む。

その他は翌日の3月11日(金)実施として、10時から日本貿易会、13時30分から経済産業省・資源エネルギー庁、同時刻の13時30分から外国船舶協会、15時30分から消防庁へ、常任中央執行委員を中心に手分けをし、申し入れと要請行動におもむいた。

政党との懇談は、日程をあらためて取り組むことになった。行動の取り組みの結果、行動の回答とあまり変わらない回答であった。



# リレー随筆

## ～松永の勝手にランキング～

皆さん初めまして、今年度から教習部員となりまして、全港湾の松永です。リレー随筆の番がとうとう回ってきました。どうしよう、俺には趣味がない、本当にない、何もなし。旅にもいかない、映画も見ない、健康にも興味がない。ただあるのは酒だけだ。

3位は「戦う戦士(もの)たちへ愛をこめて」(空飛ぶタイヤの主題歌)、会社組織の中で矛盾や葛藤と戦うサラリーマンの唄(泣けます)。

2位は「希望の轍(わだち)」ライブでのリクエスト2位になった曲で、稲村ジェーンのサントラになった。

1位は「栄光の男」。これは国民栄誉賞を受賞した長嶋茂雄さんを見てこの曲を思いついたそうで、歌詞が良い。「信じたものはみなメッキがはがれてく... I will never cry この世に何を求めて生きている? 叶わない夢など追いかけるほど野暮じゃない、満月が都会のビル谷間から、この奥チョコチョコと俺を睨んでいる。でも、「やがては信じていたもののメッキが剥がれて露呈した本性と対峙しなければならぬ時が来る」とか、「過去の栄光を引きずるな」とか。(深すぎる)

さて、勝手なことを書きましたが、次回があれば桑前田佳祐のランキングを発表の書けば良かった。



# 港湾産別協定(30)

## ～休日・休暇について②～

前号で「休日(日曜)と国民の祝日」を獲得するまでの激しいたたかいを紹介しました。その運動の中で、港湾産別運動の飛躍的発展と産別組織「全国港湾協議会」が誕生する経緯にも触れてきました。日曜日と国民の祝日を「休日」とするために長いたたかひがあり、港湾労働者・港湾差別にとつていかに「休日制度」が大事であるかが理解いただけたかと思えます。

ここから、「産別協定29条/週休二日制」に進みたいところですが、この「休日制度」が試練を迎えます。日港協が1985年に、「日曜常時オープン」を提案することになるからです。提案は、労働者は日曜休日であるが、日曜作業を常時行えるようにし、労働者は休日出勤(時間外労働)で対応するというものです。全国港湾は、85春闘で3月1日以降の毎日曜日に監視行動を行い抵抗

たすけあいの輪をむすぶ  
**こくみん共済**  
全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP